

# 総合事業の事業対象者

総合事業は、「介護予防・生活支援サービス事業」と「一般介護予防事業」の2事業で構成されています。

このうち、介護事業者に関係の深い介護予防・生活支援サービスは、[要介護認定](#)で「要支援1・2」の認定を受けた高齢者と、新たに導入された「基本チェックリスト」による判定で、要介護・要支援となるリスクが高いと判定された高齢者を対象とします。

一方、介護予防体操教室や介護の専門家を招いた講演会などに相当する一般介護予防事業は、前者の要支援認定を受けた高齢者も含む、65歳以上の全ての高齢者（第一号保険者）を対象としています。

## 基本チェックリストとは

基本チェックリストとは、**介護予防が必要な高齢者を早期に発見するために作成された質問紙です**。総合事業のサービスを利用しようとする際、市町村の窓口または [地域包括支援センター](#) において、基本チェックリストを用いながら相談を進めていきますが、明らかに要介護認定の申請が必要な場合や、一般介護予防事業の対象者であると判断された場合はこの限りではありません。

また、要支援・要介護状態になるリスクの高い高齢者を把握する目的で行われていた、従来の基本チェックリストとは扱いが異なります。総合事業における基本チェックリストは、必ずしも要介護認定を受けなくても、必要なサービスを利用できるよう、情報を収集するためのツールです。

基本チェックリストは、日常生活の様子や身体機能の状態、栄養状態、外出頻度などを確認する25項目の質問で構成されています。

これにより、要介護認定の申請が必要か、あるいは、一般介護予防事業に該当するかどうかを見極めるとともに、高齢者一人一人に見合った支援内容を検討していきます。

基本チェックリストの質問内容は以下のようになります。

1. バスや電車で、一人で外出していますか
2. 日用品の買い物をしていますか
3. 預貯金の出し入れをしていますか
4. 友人の家を訪ねていますか
5. 家族や友人の相談にのっていますか
6. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか
7. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか
8. 15分位続けて歩いていますか
9. この1年間に転んだことがありますか
10. 転倒に対する不安は大きいですか
11. 6ヶ月間で2kgから3kg以上の体重減少がありましたか
12. 身長(cm)と体重(kg)およびBMI(注)
13. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか
14. お茶や汁物等でむせることがありますか
15. 口の渇きが気になりますか
16. 週に1回以上は外出していますか
17. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

18. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか
19. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか
20. 今日が何月何日かわからない時がありますか
21. (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない
22. (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった
23. (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今はおっくうに感じられる
24. (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない
25. (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする

(注) BMI = 体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m) が 18.5 未満の場合に該当とする

## 基本チェックリストの質問項目の意図

基本チェックリストの質問事項には、次のような意図が含まれています。

- 1～5の項目...日常生活関連動作について
- 6～10の項目...運動器の機能について
- 11.12の項目...低栄養状態かどうか
- 13～15の項目...口腔機能について
- 16.17の項目...閉じこもりについて
- 18～20の項目...認知症について
- 21～25の項目...うつについて

※21～25の項目に関しては「一時的なもの」ではなく、「ここ2週間継続して感じている」かどうか

## 基本チェックリストによる判定方法

基本チェックリストによる判定は、主に以下のような基準で行われます。

- 1～20までの20項目のうち10項目以上に該当(複数の項目に支障あり)
- 6～10までの5項目のうち3項目以上に該当(運動機能の低下)
- 11.12の2項目のすべてに該当(低栄養状態)
- 13～15までの3項目のうち2項目以上に該当(口腔機能の低下)
- 16.17の2項目のうちNo.16に該当(閉じこもり)
- 18～20までの3項目のうちいずれか1項目以上に該当(認知機能の低下)
- 21～25までの5項目のうち2項目以上に該当(うつ病の可能性)

それぞれの質問は、ご本人の心身の状況についての概要を把握する上で必要です。しかし、1回の判定だけで、その人のすべての心身の状況が分かるわけではありません。どの程度の頻度でチェックを行えば良いかという基準はありません。

しかし、ご本人の心身の状況の変化に応じて、回答の内容にも変化が出てきます。体や心の変化に気づいたら、再度基本チェックリストのチェックを受けてみることも良いでしょう。